

クイーンズランド補習授業校 学校概要

1. ごあいさつ

クイーンランド補習授業校の歴史は、昭和 51 年（1976 年）にクイーンランド大学の橋川次郎先生や内山加代子先生、三井物産等のご尽力により、ブリスベン補習授業校設立の準備が開始されたことに始まります。その後、平成 6 年（1994 年）にゴールドコースト日本語補習授業校と統合し、クイーンズランド日本語補習授業校となり、平成 27 年（2015 年）に校名をクイーンズランド補習授業校と改め、現在に至っています。

思えば、発足から 40 年に渡る歴史を刻んできたこととなります。その間、その時々在校生、教員、保護者が一体となって補習校の運営に携わってきました。補習校の特徴は、まさにこの点にあります。次代を支える日本人子女を育てるために「皆で助け合っていく」という協力の精神とそれに対する人々の熱意こそが補習校の力の源であり、姿です。裏を返せば、在校生、教員、保護者の助け合いという三位一体関係が崩れると、学校としての機能を失ってしまうのが補習校です。

現在、世界には 205 校の補習授業校があります。どの補習校もこの難しさを抱えています。補習校は、週 1 回だけの学校であるため専用の校舎を持っているところはほとんどありません。また、教員も授業日以外は他の仕事を持ちながら授業の準備をしています。一般の保護者も役員も日頃の安全指導や学習指導の手伝いやら図書係やら、はたまた行事の準備やらと専任教員のように働きます。もちろん、すべてボランティアです。幸いなことに、これらの人々の奉仕の精神は、多くの共感を生み、地域日本人社会の中に補習校を取り巻く温かな空間を形成しています。子供たちも大人たちのそのような精神に応えようと一生懸命勉強しています。

補習校は、日本の学校教育法、学校教育法施行規則、文部科学省学習指導要領に基づいて「日本人にふさわしい教育」を提供する在外教育施設です。同等にはできないにせよ、学習指導はもとより、生徒指導や行事などの特別活動も日本国内の学校に準じて行われます。特に、学習指導においては、検定教科書を用いて、文部科学省が補習校のために作成した指導計画を参考に、日本国内の学校とほぼ同じ進度で進められます。行事についても、日本的な入学式や卒業式はもちろん、唱歌を歌ったり、こどもの日や七夕などの文化を学んだりする集会を始め、日本的な運動会や補習校祭りなどがあります。本校の場合、運動会と補習校祭りは、ゴールドコースト校の子供たちもブリスベン校の子供たちもとても楽しみにしている盛大な学校行事です。どちらも日本を体感できるだけでなく、学ぶものがある大切な行事です。現地校での勉強だけでも大変な中で、授業の準備をしてから土曜日に補習校へ通うことは辛いことでしょう。しかし、子供たちは、平日に日本の子供たちがする 1 週間分の学習を家庭で保護者の方と担任に支えられながら、よくこなしています。

いろいろな人の「協力」という宝を大切に、これからも補習校の子供たちの健やかな成長のために力を合わせて温かく見守っていきましょう。

第 9 代校長 直塚 裕典

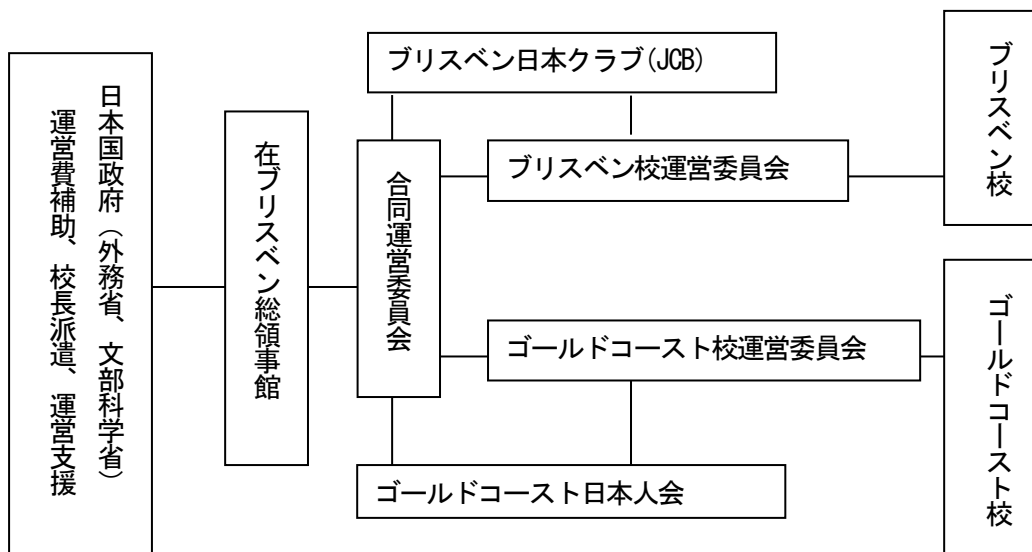
2. 組織

(1) クイーンズランド補習授業校ブリスベン校

- 運営母体：ブリスベン日本クラブ(The Japanese Club of Brisbane)
- 運営主体：クイーンズランド補習授業校ブリスベン校運営委員会
- 運営委員会メンバー：運営委員長、運営副委員長、ブリスベン日本クラブ会長、校長、保護者会役員代表、+領事 (オブザーバー)
- 借用校舎：セイトエイダンアングリカンガールスクール(St Aidan's Anglican Girls' School)
11 Ruthven St Corinda, QLD4075, AUSTRALIA
- 事務所：The Japanese Club of Brisbane/Japanese School of Queensland, Brisbane
Suite 17, Taringa Professional Centre, 180 Moggill Road, Taringa, QLD4068
(Postal Address: PO Box 1122 Indooroopilly Centre QLD 4068)
Tel: 07-3870-0360 Fax: 07-3871-0316 URL: <http://jc-b.com>
Email: hosyuko@jc-b.com (事務) (補習校事務は火曜日および木曜日 9:00~17:00)
jschool@jc-b.com (校長)

(2) クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校

- 運営母体：ゴールドコースト日本人会(The Japanese Society of the Gold Coast)
- 運営主体：クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校運営委員会
- 運営委員会メンバー：運営委員長、運営副委員長、ゴールドコースト日本人会会長、校長、保護者会会長、保護者会副会長2名、領事 (オブザーバー)、有識者 (オブザーバー)
- 借用校舎：オールセイントスアングリカンスクール(All Saints Anglican School)
Highfield Drive, Merrimac, QLD4226, AUSTRALIA
- 事務所：The Japanese Society of the Gold Coast/
Japanese School of Queensland, Gold Coast
Office 2.5 Robina Community Centre 196 Robina Town Centre Drive Robina
QLD 4230
Tel: 07-5575-7220 Fax: 07-5575-7220 URL: <http://jsgc.org.au>
Email: jlssqnishida@live.com.au (事務) jschol@jc-b.com (校長)
(補習校事務は、水曜日および金曜日 9:00~16:00)



3. 教育内容、学校での決まり、その他の案内

【本校の特色】

クイーンズランド補習授業校は、文部科学省在外教育施設で、ブリスベン日本クラブ(JCB)を運営母体とするブリスベン校とゴールドコースト日本人会を運営母体とするゴールドコースト校との二つの補習校から成っています。二つの運営母体から成る補習校は、世界中にある205校の補習校の中でも本校だけです。ブリスベン校の運営はブリスベン校運営委員会、ゴールドコースト校の運営はゴールドコースト校運営委員会が担当し、両校を合同運営委員会が統括しています。各校運営委員会のメンバーは、それぞれの日本人会からの代表者、保護者会代表者、文科省派遣教員、領事館代表者などにより構成されています。また、合同運営委員会は、両日本人会長を含むブリスベン日本人会、ゴールドコースト日本人会よりそれぞれ4名の委員、補習校校長、在ブリスベン日本国総領事館からのオブザーバー1名から成っています。

文部科学省は、補習授業校の設置目的を次のように説明しています。

「補習授業校は、現地校に通学する生徒が（対象）、再び日本国内の学校に編入した際にスムーズに適應できるよう（目標）、一部の教科について基礎基本を習得するための授業を（内容1）、国内で使用する教科書を用いて日本語により行う（方法）とともに、日本の学校の学習習慣、生活習慣などを指導し、併せて日本の学校文化を体験させる（内容2）ことを目的とする教育施設です。」
（文科省「在外教育施設運営参考資料 p.8」）

（参照 URL : http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/002/001.htm）

したがって、補習校は、日本語教育を提供する教育施設ではなく、学習指導要領に基づいて日本の学校教育を提供する教育施設です。

本校は、幼稚部（年長）、小学部、中学部に両校それぞれ約250名が在籍しており、このうち大部分は小学部に属しています。

【教育目標】

本校の教育課程は、文部科学省学習指導要領の指針および指導の重点、加えて、海外にあることを十分に活かした学校教育目標および学校の方針と重点を受けて編成する。

（1）教育目標

人間尊重の精神を基本として、日本人としての国民的自覚を持つとともに、国際社会に生きる品位と実力とを備え、社会の発展に寄与するたくましい実践力のある人間の育成を目指す。このため、次の目標を設定する。

- ① よく考え、自分で学ぶ子
- ② ねばり強く、最後まで頑張る子
- ③ どの国の友達とも仲良くできる子

＜教育目標を達成するための基本方針＞

- ① 教科指導においては、基礎的、基本的な内容の定着を目指し、学習指導方法の工夫と改善に努める。
- ② 児童が生き生きと意欲的に学校（現地校、補習校）生活を送ることができるようにするために、児童生徒相互、児童生徒と教員、保護者、教員相互の豊かな人間関係の確立に努める。
- ③ 現地校においては、交流の機会を活かし、国際理解を深めるとともに、補習校においても日本語の能力の伸長を図り、学校行事等を通して家庭や地域との連携を密にして、我が国の文化や伝統についての理解を深める。

(2) 指導の重点

- ① 「生きる力」
自ら考え、自ら学び、自分の力で生きる下地を育む。
- ② 道徳教育
学校教育全体を通じてこれを行う。
- ③ 教科指導
個性を伸ばす指導の徹底を図り各教科の基礎的基本的内容を確実に身につけさせる。
- ④ 特別活動
 - ア) ひとりひとりが十分に活動できる場を設定し体験を通して主体的に取り組む能力や態度の育成を図る。
 - イ) 集団活動の中で、他を尊重し、自己を生かす能力や公共に奉仕する実践力を身につけさせる。
- ⑤ 生徒指導、進路指導
 - ア) 児童生徒ひとりひとりを正しく理解し、実態に即した指導が図れるように努める。
 - イ) 将来への目当てをもって自己の進む道を選択できるように、家庭との連携を取りながら指導の充実に努める。

【授業】

(1) 授業日

別途「年間行事予定表」に定められた土曜日、年間40日

(2) 教科

幼稚部：日本語の歌、数遊び、読み聞かせなど小学部1年生への準備

小学部：国語、算数、(社会、理科)

中学部：国語、数学、(社会、理科)

(3) 時間割

登校：8時45分

全校朝会または学級活動：8時50分～9時10分

第1校時：9時15分～9時55分

第2校時：10時00分～10時40分

中休み：10時40分～11時00分

第3校時：11時00分～11時40分

第4校時：11時45分～12時25分

<上記の他に年2回理科学習日、補講実施日>

第5校時(13:00～13:40)

第6校時(13:45～14:25)

(4) 学期

第1学期：4月～6月

第2学期：7月～9月

第3学期：10月～12月

第4学期：1月～3月

【学校での決まり】

(1) 次のことを守りましょう。

- ① 教科書、ノート、筆記用具はいつも持参し、宿題などの提出物を確かめて登校しましょう。
- ② 食べ物は持って来ません。飲み物は水筒に水かお茶を入れましょう。
- ③ 学習にふさわしい服装で登校しましょう。
- ④ 必要以上のお金や貴重品は持って来ません。
- ⑤ 学校のもの大切にしましょう。
- ⑥ 友達や先生にあいさつをしましょう。
- ⑦ 時間を守りましょう。
- ⑧ 携帯電話はカバンに入れ、放課後までは触りません。

(2) 教科書、ノートについて

- ① 国語と算数(数学)の教科書を持って登校します。
- ② 教科書は基本的に補習校から配布します。ただし、教科書需要調査は前期教科書については前年度の10月に、また、後期教科書についてはその年の5月中旬に実施されますので、その時点よりも遅く補習校に編転入してきた場合には、各自で領事館に教科書申請書を提出しておいて下さい。尚、日本からの転入生は、海外子女教育振興財団で教科書を受領して来て下さい。

③ ノートについては、下表記載の本校標準ノートを各自ご用意下さい。

タイトル	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学生
国語	10マス 22ミリ	12マス 18ミリ	15マス 15ミリ	18マス 12ミリ	17行	17行	大学ノート
算数 (数学)	7マス18 ミリ	17マス 12ミリ	22行 10ミリ 横罫	27行 8ミリ横 罫	27行 8ミリ横 罫	27行 8ミリ横 罫	大学ノート
漢字練習	50字 22mm (リーダー 入り)	84字 18mm (リーダー 入り)	91字 17mm (リーダー 入り)	120字 14mm	200字 11mm	200字 11mm	

注1) 日本に帰国の際に購入されるか、不二マートでお買い求め下さい。

(3) 図書室の利用

- ① 借用校舎内に図書室があり、それぞれの校舎に約3200冊以上の日本の本があります。
- ② 一回に一人3冊まで借りられます。貸出期間は2週間です。長期休暇前の貸し出しは、ブリスベンが6冊、ゴールドコーストが3冊までで、返却は休暇明けの最初の授業日になります。
- ③ 借りるときと返却するときは、図書担当者にバーコードをスキャンしてもらいます。

【その他の案内】

(1) 教育相談

年間行事予定表に教育相談期間を定めています。この期間を利用して、学級担任と話し合うことができます。また、校長が進路や学習についての相談を事務所で行っていますので、事務所までご連絡下さい。さらに、海外子女教育振興財団や大手企業には専門の相談員がいますので、相談することができます。

(2) 通信学習

海外子女教育振興財団では、海外在留邦人のために通信教育を行っています。幼児コース、小・中コース、高校生小論文コースがあります。このうち、小・中コースは文科省からの補助が出されているため、格安料金になっています。国語、算数、理科、社会の4教科で1か月あたり¥4,500です。国語と算数のみ、または理科と社会のみの2教科受講も可能です。詳しくは、下記のURLをご参照下さい。 <http://www.joes.or.jp/tsushin/>

(3) 登下校の注意

- ① 児童生徒の安全確保のため、保護者による送迎を義務とします。
- ② 朝は、8時45分までに登校させて下さい。
- ③ ブリスベン校の車の進入は、禁止されています。
- ④ ゴールドコースト校の構内は、時速15km以下の速度を厳守して下さい。また、一時停止も厳守願います。

(4) 入学手続き

入学および編転入を希望する場合は、「新規・継続入学要項」を熟読の上、必要書類の提出と納付金の納入をして下さい。4月入学の場合も途中編入の場合も面接試験の受験が必要になります。内部進学者の選抜は別に定められています。

(5) 募集人員

募集人員は各学年とも毎学年度の「新規・継続入学要項」に記載されています。

(6) 入学資格

- ① 基本的日本語能力および基本的生活習慣を備えている子女であること。
- ② 補習授業校の設置目的、役割を理解している保護者の子女であること。
- ③ ブリスベン校はブリスベン日本クラブ(JCB)会員の子女であること。ゴールドコースト校はゴールドコースト日本人会会員の子女であること。
- ④ 日本の義務教育該当年齢(中学部1年入学生4月2日現在で満12歳以上、小学部1年入学生は4月2日現在で満6歳以上)、幼稚部入学生は4月2日現在で満5歳以上の子女。

(7) 納付金

(下記授業料は、本年度においても日本政府からの補助金が昨年同様に支給される事を前提としております。)

<令和5年度 ブリスベン校>

納付金(入学金・授業料・合計)

入学金(新規入学者のみ)	\$50.00 (GST 込)
年間授業料(幼稚部)	\$1,260.00 (GST 込)
年間授業料(小学部)	\$1,260.00 (GST 込)
年間授業料(中学部)	\$1,260.00 (GST 込)
幼稚部合計(入学金を含む)	\$1,310.00 (GST 込)
小学部合計(入学金を含む)	\$1,310.00 (GST 込)
中学部合計(入学金を含む)	\$1,310.00 (GST 込)

注1) 授業料には教材費や傷害保険料などの一切を含みます。

新入学者および再入学者には入学金として\$50を申し受けます。

注2) 授業料は一括払いに加え、前・後期(年2回)分割払い、各学期(年4回)の分割払いが可能です。

注 3) 注 2 の分割納入の事務手数料については、平成 28 年度 (2016 年度) より、分割 2 回目以降の支払いにつき、子女数に関わらず 1 回 1 家庭 \$50 とします。尚、この場合の「回」は、2 回または 4 回の分割納入の回数を意味するものとし、口座振り込み限度額の都合により同時期に複数回に分けて支払う振込回数を意味するものではないものとします。

<分割払い時 1 回あたり金額> ※2 回目以降は事務手数料 \$50 を加算してください

	幼稚部	小学部	中学部
2 回払い (前後期)	\$655.00	\$655.00	\$655.00
4 回払い (各学期)	\$327.50	\$327.50	\$327.50

注 4) 上記授業料は、2017 年度 (平成 29 年度) においても日本政府からの補助金が昨年同様に支給される事を前提として決定されたものです。

<令和 5 度 ゴールドコースト校> 納付金

支払回数	第 1 子	第 2 子以降
1 回払い	\$1,260.00	\$1160.00
2 回払い (半期毎)	\$ 690.00	\$ 640.00

注1) 休学扱いはありません。

新入学者および再入学者には入学金として \$50 を申し受けます。

注2) 途中退学による返金はありません。

注3) 上記の学費には、授業料の他、保険代、教材費および文集代が含まれています。

注4) 上記の学費は、日本政府からの援助金が昨年同様に支給されることを前提にしています。

注5) 学費は今後、消費者物価指数 (CPI) の変動率に連動して調整されます。

注6) 学費は、原則として 1 回払い・2 回払いとします。